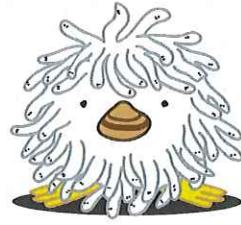


大洗町について

アクアワールド大洗や大洗磯前神社、サンビーチ海水浴場などを有する茨城県一の観光地である。東日本大震災後、風評被害などで観光業が大打撃を受けたが、2012年に大洗町を舞台としたアニメ『ガールズ&パンツァー』が放送されるとその聖地としても有名となった。現在、町の商店街などでは『ガールズ&パンツァー』キャラクターを生かしたイベントやグッズ販売等が多く行われている。

- ・人口 16,095人（令和4年4月現在）
- ・町の花 つづじ 町の鳥 カモメ 町の木 松
- ・特産品 アンコウ、シラス、ハマグリ、紅あずま
- ・町の公式イメージキャラクター アライッペ



1

大洗町幕末と明治の博物館及び松林

○大洗町幕末と明治の博物館

大洗町幕末と明治の博物館（旧・常陽明治記念館）は昭和4年に開館した。創立者は、自身も幕末の志士であり、宮内大臣として明治天皇のご信頼が厚かった田中光顕伯爵である。創立から90年以上の歴史を誇り、別館の建物は国の登録文化財に指定されている。博物館内では、明治天皇のご下賜品や幕末の志士・明治の元勲の書画、美術工芸品等を展示している。

○周囲の松林

町有地であり、現在は松林を生かした、自然を体感できる大洗キャンプ場を年間通じて開設している。

敷地面積は、69,426m²（約21,000坪 博物館面積も含む）で約1,200本の松が植えられている。

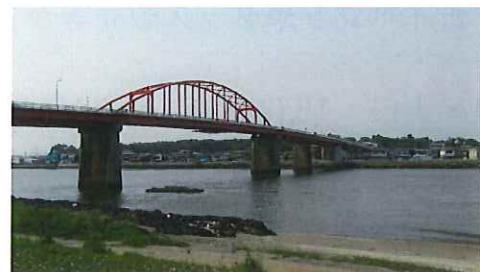
2

海門橋

大洗町とひたちなか市を結ぶ道路橋。橋長407.8m。

橋の下を遠洋漁業の漁船が通れるように水面からの高さが15メートルほどある。今の橋が5代目にあたり、3回ほど落橋している。

- 初代・・・明治28年（1895年）架橋
- 2代目・・・明治31年（1898年）架橋
- 3代目・・・大正7年（1918年）架橋
- 4代目・・・昭和5年（1930年）架橋
- 5代目・・・昭和34年（1959年）架橋



3

アクアワールドと大洗海岸

○アクアワールド大洗

- ・平成14年（2002年）3月に開館。
- ・毎年100万人以上の観光客が訪れる。
- ・60水槽で約580種・6万8000点の生物を飼育している。
- ・なかでもサメは60種類以上飼育しており、その数は日本一である。
- ・水量270tあるマンボウの飼育水槽は国内最大級。



○大洗海岸

- ・大洗海岸にかかる大洗海水浴場は白砂青松の日本の渚百選や日本の白砂青松百選に選ばれている。
- ・磯釣りや磯遊び、サーフィン等が楽しめる。

4

神磯の鳥居と宮下地区について

神磯の鳥居

- ・齊衡3年(856年)、現在の神磯に御祭神が降臨し、大洗磯前神社が創建された。現在、神磯に鳥居が建っており、太平洋から昇る朝日や岩に砕ける波の景観が素晴らしい多くの観光客が訪れる。



宮下地区

- ・多くの旅館やホテル、飲食店が並んでいる。
- ・慶応元年(1865年)、観光客相手の料理屋として川崎屋が建てられ、明治3年(1870年)旅館業を始め、のちの魚来庵となる。
- ・明治23年(1890年)金波楼設立。
- ・明治33年(1900年)大洗ホテル開業。

5

大洗磯前神社

創建後、御社殿等は戦国時代の兵乱によって焼失したが、江戸時代になり水戸藩2代藩主徳川光圀公の命で元禄3年(1690年)社殿等の造営を始め、3代綱條公の享保15年(1730年)に完成したのが今の本殿・拝殿・随神門になる。

本殿・拝殿は彫刻や建築様式が江戸初期の数少ない建造物として茨城県の指定有形文化財に指定されている。

(大洗磯前神社公式ホームページより)

6

空き店舗の利活用と商店街



大洗町の商店街は、東町商店街から大賀商店街までの計6商店街、全長は約4kmに及ぶ。

町の中心部に位置し、古くから町の経済の中核を担い発展し、一部には、白砂青松で知られる大洗の松、昭和の時代を感じさせる街並みや風情が今もなお残る。

【課題】

- 隣接市(水戸市、ひたちなか市)への買い物行動の流出が続いている。
- 港湾に集中する観光客の呼び込み。
- 駐車場を十分確保できていない。
- 店舗兼住宅が多く、廃業しても住宅としてそのまま活用するなど、店舗と一般住宅が混在しており、街並みの統一が図られていない。

【Topics】

豊釜商店街空き店舗(旧米三)をリノベーションした「BOOK&GEAR焚火と本」が2020年4月にオープン。



写真出典「いばしごと」<https://ibashigo.net/2021/04/25/takibitohon/>

7

フェリーターミナル

- 昭和60年（1895年）3月、大洗カーフェリー港の開校式が行われ、大洗～室蘭間、大洗～苫小牧間のカーフェリーが就航された。（現在は、大洗～苫小牧間のみ）
- 大洗と北海道を結ぶ重要なフェリーターミナルであり、旅客や乗用車の移動、貨物輸送等に利用されている。
- 寄港するカーフェリーさんふらわあ（しけとこ/だいせつ）は、約18時間で約750km（大洗～苫小牧間）を運行する。全長190mで、旅客定員154人、車両は、乗用車62台、大型トラック160台ほどを搭載できる。

（写真は商船三井フェリー公式HPより）



8

4

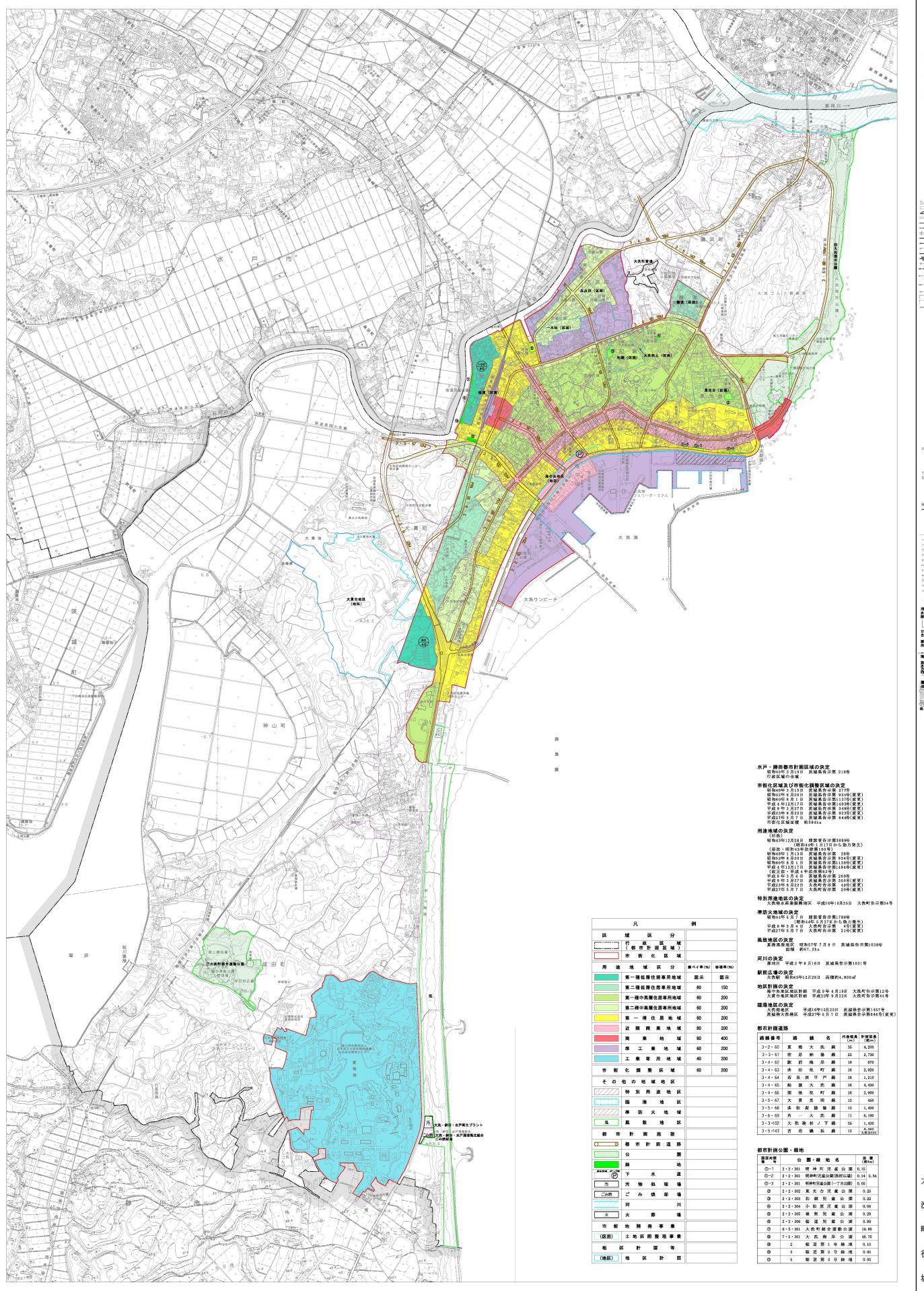


出典：国土地理院ウェブサイト

(<https://maps.gsi.go.jp/#12/36.355504/140.585175&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>)

1:10,000

大洗町都市計画図



大洗町役場